

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター（FAMS）

令和5年度食の安全部門研修会 および JRA 畜産振興事業にかかる研修会の開催について

1. 目的及び概要

新型コロナウイルスのパンデミックにより一般化したPCR検査ですが、昨今、DNA/RNAの濃度を高感度高精度に絶対定量できる技術として普及し始めたデジタルPCR(ddPCR)に着目し、その原理と活用方法について具体例を交え概説し、次世代の技術を学びたいと思います。

また、近年その発生が急増している牛伝染性リンパ腫（EBL）では、ウイルス感染農場の清浄化対策が望まれています。本研修会では感染牛から産生される感染子牛に着目し、産出された感染子牛を分離してEBL清浄農場へと導くプロジェクトの概要と現時点での成果についてご紹介する予定です。

今後普及がみこまれるddPCRの原理や応用、また、EBL清浄化モデルの開発状況やその成果について学び、家畜衛生、食品衛生、感染症分野の研究/検査業務に役立てて頂ければ幸いです。

2. 開催日時および受講費

日時：令和5年12月15日（金）

会場：岩手大学農学部5号館生命系スペースC(キャンパスマップ <https://www.agr.iwate-u.ac.jp/campusmap/>)

主催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター（FAMS）

食の安全部門 食品安全科学ユニット

協賛：バイオ・ラッド ラボラトリーズ（株）

受講費：無料

3. 対象者

家畜衛生、食品衛生、感染症検査、食品の品質管理に係る方

4. 研修会内容

【プログラム（予定）】

13:30 - 14:00 受付

14:05 - 14:10 開会式 開会の挨拶：FAMSセンター長 佐藤 至

14:10 - 15:10 第一部：

「なにやら便利で使いやすい ドロップ デジタル PCR (ddPCR) って何？」

15:10 - 15:20 休憩

15:20 - 16:00 第二部：

「牛伝染性リンパ腫（EBL）清浄化のための研修会」

16:00 - 16:10 総合討論・質疑応答

16:10 - 16:15 修了証授与

16:15 - 16:20 閉会 閉会の挨拶：FAMS副センター長・食の安全部門 部門長 村上 賢二

【参加申込方法】

下記申込フォーム(URL または QR コードから) または添付の参加申込書に必要事項を記入の上、お申し込みください。お申し込みは**令和5年12月11日(月)17時**までをお願いいたします。

*取得する個人情報は、研修会に関するご案内・ご連絡、参加登録、及び弊学からの情報提供のために利用します。

申込フォーム

<https://forms.gle/pUsQ1oovkFrnRvB77>



—お問い合わせ—

岩手大学農学部附属

動物医学食品安全教育研究センター (FAMS) 事務局

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目 18-8

Tel: 019-621-6108 Fax: 019-621-6107

Mail: fams@iwate-u.ac.jp